



# 平成22年9月期 第2四半期決算短信

平成22年4月27日

上場取引所 東 名

上場会社名 日東エフシー株式会社  
 コード番号 4033 URL <http://www.nittofc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 要  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 杉本 智  
 四半期報告書提出予定日 平成22年5月12日 配当支払開始予定日 平成22年6月1日

TEL 052-661-4381  
 平成22年6月1日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年9月期第2四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第2四半期	8,340	△33.7	1,265	△32.9	1,479	△31.6	893	△28.2
21年9月期第2四半期	12,572	—	1,885	—	2,161	—	1,244	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第2四半期	31.15	—
21年9月期第2四半期	43.06	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第2四半期	45,215	38,601	85.4	1,430.48
21年9月期	44,562	38,707	86.9	1,342.79

(参考) 自己資本 22年9月期第2四半期 38,601百万円 21年9月期 38,707百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	8.00	—	12.00	20.00
22年9月期	—	8.00	—	—	—
22年9月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,900	△4.4	2,000	△26.1	2,160	△25.2	1,300	△19.7	46.70

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年9月期第2四半期 29,201,735株 21年9月期 29,201,735株

② 期末自己株式数 22年9月期第2四半期 2,217,009株 21年9月期 375,468株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年9月期第2四半期 28,690,763株 21年9月期第2四半期 28,893,510株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断しておりますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

・当社は平成22年3月18日開催の取締役会の決議に基づき1,834,000株の自己株式を取得しております。業績予想の1株当たり当期純利益の計算においては、これを考慮した通期の期中平均株式数(27,835,407株)により算定しております。

## ・定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の復調とともに企業収益にも一部改善が見られるなど、上向きに転じつつありますが、雇用環境の低迷やデフレの進行など、依然として厳しい状況が続いております。

肥料業界におきましては、昨年7月の価格引下げにも拘わらず、施肥節減の流れや先安期待からの買い控えに加え流通段階での在庫圧縮の影響が重なり、春肥の最需要期も低調に推移いたしました。

このような状況のもと肥料事業では、農家のニーズに合わせた技術指導等の付加サービスを絡めた営業活動を積極展開し、不動産等事業におきましても、本年2月に竣工したNFC丸の内ビルの稼働や、多治見賃貸物件の改装オープンなど、事業基盤の整備に尽力するとともに、化学品事業では、国際市況や国内需要の動向を注視しつつ、受注の拡大に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は、83億40百万円（前年同期比33.7%減）、営業利益は12億65百万円（前年同期比32.9%減）、経常利益は14億79百万円（前年同期比31.6%減）、純利益は8億93百万円（前年同期比28.2%減）となりました。

## (肥料事業)

春肥の最需要期での拡販により、販売数量では低調な前期実績を上回りましたものの、価格下落の影響をカバーできず、売上高62億1百万円（前年同期比25.3%減）、営業利益10億35百万円（前年同期比29.5%減）と減収減益を余儀なくされました。

## (不動産等事業)

賃貸物件の整備はほぼ予定通り進捗いたしました。その他部門では、デフレ経済のもとで弱含みに推移し、売上高7億89百万円（前年同期比19.7%減）、営業利益3億6百万円（前年同期比35.4%減）に止まりました。

## (化学品事業)

ほぼ計画通りの売上を確保できましたが、売上高13億49百万円（前年同期比58.9%減）、営業利益1億54百万円（前年同期比16.5%減）と、市況が高騰した前期との対比では大きく下回る結果となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの総資産は、前連結会計年度末に比べ6億53百万円増加し452億15百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が7億76百万円、たな卸資産が5億82百万円、有形固定資産が3億36百万円、有価証券が3億95百万円増加したことや、現金及び預金が12億円60百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ7億60百万円増加し66億14百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が5億35百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金が5億47百万円、その他有価証券評価差額金が2億45百万円増加したことや、自己株式の取得が9億円あったこと等により、前連結会計年度末に比べ1億6百万円減少し386億1百万円となりました。この結果、自己資本比率は85.4%（前連結会計年度末86.9%）となりました。

利益剰余金の変動状況につきましては、四半期純利益の計上により8億93百万円増加し、配当金の支払いにより3億45百万円減少した結果、前連結会計年度末に比べ5億47百万円増加し227億79百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ14億円減少し、42億17百万円（前連結会計年度末比24.9%減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、6億91百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益に減価償却費を加えた資金の源泉が17億37百万円、前受金による資金の増加が3億70百万円ありましたが、仕入債務の増加から売上債権及びたな卸資産の増加を差し引いた資金の減少が8億23百万円、法人税等の支払により5億29百万円それぞれ資金の減少があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、8億55百万円となりました。これは主に、債券等の取得による支出が33億76百万円、賃貸用オフィスビル建設等による有形固定資産の取得による支出が5億85百万円、債券等の償還及び売却等による収入が32億50百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、12億38百万円となりました。これは主に、平成22年3月18日開催の取締役会決議による自己株式の取得（普通株式1,834,000株、8億96百万円）や、配当金の支払によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

下半期の見通しにつきましては、上向き基調に転じつつある景気の二番底への懸念は薄まりつつありますが、雇用の回復やデフレからの脱却には程遠く、先行き不透明感を払拭できない状況が続くものと思われれます。

肥料事業につきましては、6月からの来肥料年度より、秋肥と春肥に分けてそれぞれ価格を見直す2期制がスタートし、変動の激しい輸入原料価格や為替相場への柔軟な対応が可能となりますので、従来にも増して顧客のニーズや需要動向に応じた機動的な営業活動を推進することにより、収益の確保に努めてまいります。また、不動産等事業ならびに化学品事業におきましても、顧客サービスの向上に努め、需要動向へのきめ細かい対応に注力のうえ、収益面の改善を図ってまいります。

通期の業績予想につきましては、平成21年11月13日に発表の当初予想を据え置きとし、合理的見積りが可能となりました時点で対応させていただきます。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,357,415	5,618,306
受取手形及び売掛金	5,452,736	4,675,798
有価証券	1,893,575	1,498,045
商品及び製品	4,067,199	2,958,532
仕掛品	323,679	331,692
原材料及び貯蔵品	1,861,940	2,380,380
その他	490,073	647,939
貸倒引当金	△4,408	△2,409
流動資産合計	18,442,211	18,108,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,033,573	3,664,371
土地	13,692,431	13,695,007
その他(純額)	659,112	1,689,002
有形固定資産合計	19,385,117	19,048,381
無形固定資産	667,906	680,184
投資その他の資産		
投資有価証券	5,642,867	5,668,005
その他	1,097,565	1,074,278
貸倒引当金	△19,853	△16,865
投資その他の資産合計	6,720,579	6,725,418
固定資産合計	26,773,603	26,453,984
資産合計	45,215,814	44,562,269

(単位: 千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,070,901	1,534,931
短期借入金	8,742	—
未払法人税等	472,051	692,400
賞与引当金	224,599	218,954
役員賞与引当金	—	28,500
その他	1,655,733	1,385,292
流動負債合計	4,432,028	3,860,079
固定負債		
退職給付引当金	31,746	30,309
役員退職慰労引当金	206,409	197,349
その他	1,944,412	1,766,787
固定負債合計	2,182,568	1,994,445
負債合計	6,614,597	5,854,525
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,410,675	7,410,675
資本剰余金	9,100,755	9,100,811
利益剰余金	22,779,704	22,231,791
自己株式	△1,099,894	△199,636
株主資本合計	38,191,239	38,543,641
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	409,959	164,102
繰延ヘッジ損益	18	—
評価・換算差額等合計	409,977	164,102
純資産合計	38,601,217	38,707,744
負債純資産合計	45,215,814	44,562,269

## (2) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
売上高	12,572,330	8,340,013
売上原価	9,574,108	6,055,455
売上総利益	2,998,221	2,284,558
販売費及び一般管理費	1,113,076	1,018,690
営業利益	1,885,144	1,265,868
営業外収益		
受取利息	36,401	46,808
受取配当金	18,428	11,499
負ののれん償却額	8,898	—
持分法による投資利益	94,452	48,508
為替差益	35,803	20,922
デリバティブ評価益	—	45,354
その他	100,672	41,659
営業外収益合計	294,658	214,752
営業外費用		
支払利息	63	23
デリバティブ評価損	9,303	—
支払補償費	6,000	—
売上割引	—	530
自己株式取得費用	—	888
その他	2,862	95
営業外費用合計	18,229	1,537
経常利益	2,161,573	1,479,083
特別利益		
固定資産売却益	2,268	1,291
投資有価証券売却益	—	4,800
その他	—	122
特別利益合計	2,268	6,213
特別損失		
固定資産売却損	56	2,528
固定資産廃棄損	—	1,606
投資有価証券評価損	123,565	—
その他	2,697	—
特別損失合計	126,318	4,134
税金等調整前四半期純利益	2,037,523	1,481,163
法人税、住民税及び事業税	756,534	488,962
法人税等調整額	36,824	98,372
法人税等合計	793,358	587,335
四半期純利益	1,244,164	893,827

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,037,523	1,481,163
減価償却費	253,920	256,430
負ののれん償却額	△8,898	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,200	4,986
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,971	5,645
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△32,300	△28,500
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,569	1,437
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△25,674	9,060
受取利息及び受取配当金	△54,830	△58,307
支払利息	63	23
持分法による投資損益 (△は益)	△94,452	△48,508
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△4,800
売上債権の増減額 (△は増加)	△381,900	△776,938
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,023,689	△582,213
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,343,867	535,969
前受金の増減額 (△は減少)	△9,833	370,681
その他	△350,282	14,030
小計	△353,827	1,180,158
利息及び配当金の受取額	46,317	40,868
利息の支払額	△63	△23
法人税等の支払額	△835,156	△529,194
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,142,729	691,810
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△140,000
定期預金の払戻による収入	1,000	—
有価証券の取得による支出	△4,279,750	△2,299,529
有価証券の売却による収入	5,694,420	2,699,628
有形固定資産の取得による支出	△585,820	△585,565
有形固定資産の売却による収入	3,975	4,388
投資有価証券の取得による支出	△189,273	△1,076,659
投資有価証券の売却による収入	13,600	550,600
保険積立金の積立による支出	△149,888	△54
保険積立金の払戻による収入	150,178	—
その他	△31,570	△7,966
投資活動によるキャッシュ・フロー	626,869	△855,158
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	8,742
自己株式の取得による支出	△73,424	△901,203
配当金の支払額	△347,962	△345,915
財務活動によるキャッシュ・フロー	△421,386	△1,238,376
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,119	835
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△923,127	△1,400,890
現金及び現金同等物の期首残高	5,880,779	5,618,306
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,957,652	4,217,415



## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自平成21年10月1日至平成22年3月31日）

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自平成20年10月1日至平成21年3月31日）

項目	肥料事業 (千円)	不動産等 事業(千円)	化学品 事業(千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	8,302,212	983,425	3,286,692	12,572,330	(—)	12,572,330
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	103,840	—	103,840	(103,840)	—
計	8,302,212	1,087,266	3,286,692	12,676,170	(103,840)	12,572,330
営業利益	1,468,568	474,055	184,611	2,127,235	(242,090)	1,885,144

(注) 事業区分は、内部管理上採用している区分により肥料事業（化成肥料、配合肥料、ペレット肥料、液体肥料、水耕栽培専用肥料、過りん酸石灰、肥料用原料、その他肥料）、不動産等事業（オフィスビル、ビジネスホテル、倉庫・店舗・駐車場の賃貸、運輸・倉庫業）及び化学品事業（工業用原材料、その他）に分類しております。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年10月1日至平成22年3月31日）

項目	肥料事業 (千円)	不動産等 事業(千円)	化学品 事業(千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,201,208	789,460	1,349,345	8,340,013	(—)	8,340,013
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	109,916	—	109,916	(109,916)	—
計	6,201,208	899,376	1,349,345	8,449,930	(109,916)	8,340,013
営業利益	1,035,657	306,027	154,240	1,495,925	(230,056)	1,265,868

(注) 事業区分は、内部管理上採用している区分により肥料事業（化成肥料、配合肥料、ペレット肥料、液体肥料、水耕栽培専用肥料、過りん酸石灰、肥料用原料、その他肥料）、不動産等事業（オフィスビル、ビジネスホテル、倉庫・店舗・駐車場の賃貸、運輸・倉庫業）及び化学品事業（工業用原材料、その他）に分類しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自平成21年10月1日至平成22年3月31日）

当社は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、平成22年3月18日開催の取締役会の決議に基づいて、平成22年3月19日に名古屋証券取引所の「自己株式の立会外買付制度」により当社普通株式1,834,000株を、総額896,826千円にて取得しました。